

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
介護保険請求実務 Care Insurance Billing		1年	集中	集中講義のため、日程については掲示を確認すること。
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
「介護保険実務論」（社会福祉ユニット、介護福祉士ユニットをメインユニットとする学生以外）				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
森 千佐子、和田 晴美、新井 文子、久保 由他、小林 大輔	福祉棟 2 F 講義棟 1 F	各教員から連絡する	授業中に指示します	
授業の概要				
「介護保険請求実務」では、介護保険制度のしくみやサービス利用に対する理解を深め、介護給付費の請求に関する知識および技術を習得する。				
授業の到達目標				
①介護保険制度の概要について理解できるようにする。 ②介護サービスの種類およびサービス利用の流れについて理解できるようにする。 ③介護報酬の算定における基本的事項およびサービス費用の算定方法について理解できるようにする。 ④介護給付費明細書の作成方法を習得できるようにする。				
授業の方法				
介護保険制度のしくみやサービス利用について理解したうえで、実際にサービス費用の算定演習および介護給付費明細書の作成を行う。第12回～第14回の授業では、パソコンを使用して、介護給付費明細書を作成する。授業は集中で行うため、日程については掲示を確認すること。				
学習の成果				
①介護保険の概要およびサービス利用の流れについて説明することができる。 ②介護サービスの種類を列挙することができる。 ③介護報酬の基本構造がわかり、サービス費用の算定をすることができる。 ④介護サービスを利用している事例をもとに、介護給付費明細書を作成することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス、介護保険制度の概要、介護サービス利用の基本的な流れ（担当：森）			
第2回目	保険給付の種類と対象、サービスの種類① 居宅サービス（担当：森）			
第3回目	サービスの種類② 地域密着型サービス、施設サービス（担当：森）			
第4回目	請求手続きについて、介護請求の基本的な約束事、介護給付費、介護報酬の算定における約束（担当：新井）			
第5回目	指定居宅サービス介護給付費、指定居宅介護支援介護給付費（担当：新井）			
第6回目	指定施設サービス等介護給付費、指定地域密着型サービス介護給付費（担当：新井）			

第7回目	指定介護予防サービス介護給付費、指定地域密着型介護予防サービス介護給付費指定介護予防支援介護給付費（担当：新井）		
第8回目	介護給付請求の前に、介護給付費明細書の種類、記載上の留意事項、書式（担当：久保、和田、森）		
第9回目	サービス費用算定の実際①（担当：久保、和田、森）		
第10回目	サービス費用算定の実際②（担当：久保、和田、森）		
第11回目	サービス費用算定の実際③（担当：久保、和田、森）		
第12回目	PC実務演習①（担当：和田、久保、新井、小林）		
第13回目	PC実務演習②（担当：和田、久保、新井、小林）		
第14回目	PC実務演習③（担当：和田、久保、新井、小林）		
第15回目	まとめと試験（担当：和田・久保）		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		20%	以下の視点で評価する。教材を準備して授業に臨み、必要なことはノートにとり、わからないことは質問する。授業時間中に終わらなかった課題は自宅で学習し、算定方法や給付費明細書の作成方法の理解に努めること。
レポート			
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験		80%	①第7回目に中間試験を行う。穴埋め、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。②第15回目には、サービス費用算定および介護給付明細書の作成に関する試験を行う。
発表内容（態度含む）			
その他			
教科書と参考図書			
介護保険事務士養成テキスト、介護給付費単位数等サービスコード表（一般財団法人つしま医療福祉研究財団）			
履修上の心得・ルール			
「介護保険事務士」資格試験受験のための必修科目である。算定演習の際には、サービスコード表・電卓・定規を持参すること。机上に携帯電話、飲み物など教材以外のものを置くことは禁止する。			